

# 東海大学松前会館

東海大学松前会館は、湘南キャンパス二号館前のゆるやかな下り坂を左に辿ったところにあります。一階は学園の教職員や大学を訪れる来客、宿泊者向けの食堂、二階には宿泊や各種の会合に利用できる和室と大広間があり、年間を通して利用できます。



庭の緑を愛でながら  
楽しめるランチが好評



住所 〒259 1292  
神奈川県平塚市北金目4丁目1番1号  
TEL 0463 58 1211

アクセス  
小田急線(新宿より急行約70分、小田原より約25分)東海大学前駅下車徒歩約15分。  
JR東海道線平塚駅下車東海大学行きまたは秦野駅行きバス(約30分)で東海大学正門前下車徒歩5分。

東海大学松前会館は、学園の教職員、同窓生、保護者、校友同士の交流を深めるための福利厚生施設として、学園創設者の松前重義博士の著作印税と、同博士の遺暦に際して寄せられた芳志および英世学園の残余財産によって、昭和四十一年に建設されました。

一階の玄関ロビーを入ってすぐ右側には、学園の教職員や校友会会員、来客、宿泊者などが利用できる食堂となっています。ランチタイムは日曜を除く毎日、午前十一時から午後二時、



武道館門は湘南キャンパスの桜の名所。かつて東京・浜町にあった水天宮の門を移築したものの



湘南キャンパスの富士見通り、榊並木、武道館門歩道などで見られる敷石。かつて都電の敷石として使われていたもの

メニューは日替わり定食四五〇円/五二〇円の二種類)、ヒレカツカレー(五五〇円)、まぐろ丼松前風六八〇円)、中華御膳(七四〇円)、松前御膳(一〇〇〇円)、各種麺類や丼ものなどの和食・中華が中心。庭に面した全面ガラス張りの窓からは穏やかな陽光が差し込み、春の桜や木々の緑を眺めながらゆくりと食事が楽しめます。

屋内百席のほか、天気のいい日には庭にもテーブルを出して約二十席が用意され、開放感あふれる屋外の利用されている常連のテーブルを毎日のようにお客様も少なくないとのこと。庭には鯉の泳ぐ池もあり、カワセミやアオサギなどの野生の水鳥がやってくることもあるそう、今年の



部屋はいずれも和室。豊かな緑に囲まれくつろげる



大広間は53畳。60名くらいまでの食事会などにも利用できる



ランチメニューが充実しているレストラン



明るいロビー。奥に宿泊の受付がある



和洋中メニュー豊富なランチ。まぐろ丼松前風680円は絶品



宿泊者の夕食は900円。旬の食材をつかった刺身や天ぷらが人気

春はカルガモの雛が親鳥の後についてヨチヨチ歩くかわいい姿も見られ、利用者の方々の微笑みを誘っていたそうです。

格安料金と落ち着いた環境が魅力の宿泊施設



音楽家ショパンの生家のマロニエの種を植えて育てた松前記念館前のマロニエの木

東海大学松前会館の二階には、一名からの宿泊に利用できる和室と、大広間があります。

宿泊用の和室は全部で十室。緑豊かなキャンパスの敷地内なので、とても静かな環境でくつろぐことができます。宿泊の目的は海洋学部などのキャンパスから講義や会議のために湘南キャンパスに来る教職員、運動部の保護者

会の方々、箱根駅伝の応援団、卒業生のご夫婦や家族、研究会や部活動の合宿などさまざま、連泊されるお客様も多いとのこと。宿泊料金は、校友会会員・卒業生・教職員の家族などが一泊一六〇〇円。一般の宿泊施設に比べて格安なのが大きな魅力です。食事は予約制で、朝食が六〇〇円、夕食は九〇〇円でご提供しています。また浴場は二つあり、宿泊者が二十名以上の場合には大浴場が利用できます。

大広間は五十三畳の和室で、各種の会合や研究会、学会など、さまざま

### 【宿泊情報】

宿泊料金  
校友会会員・卒業生・教職員の家族 1泊  
1600円

食事料金  
朝食 7:00~8:30 600円(要予約)  
夕食 18:30~20:30 900円(要予約)

食堂  
ランチタイム 月~土11:00~15:00

宿泊申し込み先  
東海大学湘南校舎・事務部総務課  
TEL 0463-58-1211

松前会館裏手にある創立者松前重義博士のかつての居宅を東京から移築した旧松前記念館



風情のある松前会館の日本庭園